



全道書記長・事務担当者研修会を開催

道農連は11月9日、札幌サンプラザで全道書記長・事務担当者研修会を開催し、各地区の書記長や事務担当者ら約80名が参加した。

農政研修会では、第1部で国土交通省北海道運輸局自動車技術安全部技術課の伊東専門官が「農作業機を装着・牽引して走行する農耕トラクタの規制緩和について」と題して、昨年の道路運送車両法の保安基準が緩和された経過や、規制緩和の内容などを中心に説明した。

第2部で北海道農業機械工業会の竹中専務理事が「作業機を装着・牽引したトラクタで走行するための具体的対応」と題して、規制緩和された保安基準等の適合を受けるための具体的な対応などについて説明した。

酪農・畜産対策と畑作・野菜対策の中央行動を実施

道農連は、11月17～18日に酪農・畜産対策、18～19日に畑作・野菜対策の中央行動を実施し、道選出等国会議員や農水省担当部局らに要請した。

酪農・畜産対策では総勢13名で、持続可能な国内酪農・畜産に向けた基本政策の確立や、多様な経営体が将来を展望できる2021年度畜産物価格等の決定、生産現場の声を活かした各種関連施策の推進を求めた。

畑作・野菜対策では総勢21名で、畑作物における国境措置の確保のほか、持続可能な畑作農業の政策確立、畑作物の生産振興策の充実・需要確保対策の強化、野菜政策の強化を図る支援策の拡充・強化など、食の安全・安心に関する制度の厳格化、日本型直接支払制度の拡充・強化を求めた。

道農業青色申告会・税務研修会を開催

道農業青色申告会（会長：中原浩一道農連書記長）は11月9日、札幌サンプラザで税務研修会を開催し、関係者ら約80名が参加した。

研修会では、道税理士会業務対策部副部長の森下税理士と、札幌国税局課税第一部個人課税課記帳指導専門官の松尾氏が、講師を務めた。

高収益次期作支援の追加措置に関する緊急要請を実施

道農連は11月10日、国が10月30日に示した「高収益作物次期作支援交付金の運用見直しに関する追加措置」に対する緊急要請（文書送付）を実施した。

要請では、混乱した生産現場への丁寧な説明や、追加措置によって多くの生産者を救済するとともに、早期に追加措置の内容が周知されるよう、与野党農林関係議員に現状を訴えた。

11月の活動記録（上記以外）

- 5日 第3回酪農・畜産対策委員会
- 6日 日英包括的経済連携協定（農林水産品）に関する説明会（リモート）
- 11日 道農産協会企画調整部会
- 27日 食とみどり、水を守る全国活動者会議（リモート）

12月の活動予定

- 4日 合成洗剤追放北海道連絡会第2回運営委員会
- 8日 第1回組織・財政委員会
- 22日 第6回執行委員会
- 23日 全道地区・市町村組織委員長会議

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（TEL011-241-5416）まで。